

事前評価個表

整理番号	82
------	----

地域（地区）名	<small>ながきなんぶ</small> 長崎南部地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	長崎市ほか9市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>長崎南部森林計画区は、長崎県西南部及び南東部に位置し、県庁所在地であり、中心部は都市化が進んでいる。本地域の民有林面積は、65,160haであり、総面積の40%を占めており、林業生産額は26億円となっている。また、地域内の林道延長は、472.2kmで、公道等を含むと林内道路密度は22.9m/haとなっている。当地域は森林に恵まれており、人工林は30,754haであり、人工林率は47%となっている。しかし、41年生以上の利用可能な林分が62%を占めており、多くの人工林が木材資源として本格的に利用が可能な段階を迎えており、県産材の利用拡大を通じた林業の再生を図っていくことが望まれるとともに、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、必要な施業を適時・適切に行い、森林の健全性を保っていくことが求められている。</p> <p>このため、長崎南部森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備を推進する必要がある。</p> <p>本計画に基づき、間伐等の採算性の向上に向けた施業の集約化、路網整備と高性能林業機械との組み合わせによる低コスト作業システムを構築しつつ森林整備を行うことにより、森林の有する多面的機能の発揮も可能となる。</p> <p>なお、他産業との連携等に関しては、森林の多くが農耕地や住宅地に近接していることから、農林業の振興、農林道の整備や土木、公園、観光関係において関係部局等との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,178ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,858,194千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.91 (総便益(B) = 19,864,502千円、総費用(C) = 2,510,566千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況、森林整備の緊急性などから見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保がもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p> <p>森林は、多様な機能を有しているがこれらの機能は一度失うと回復に長時間を要することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。 本計画は、森林の齢級構成等に応じた適切な森林整備等の計画をしているほか、効率性・有効性が認められる。 このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

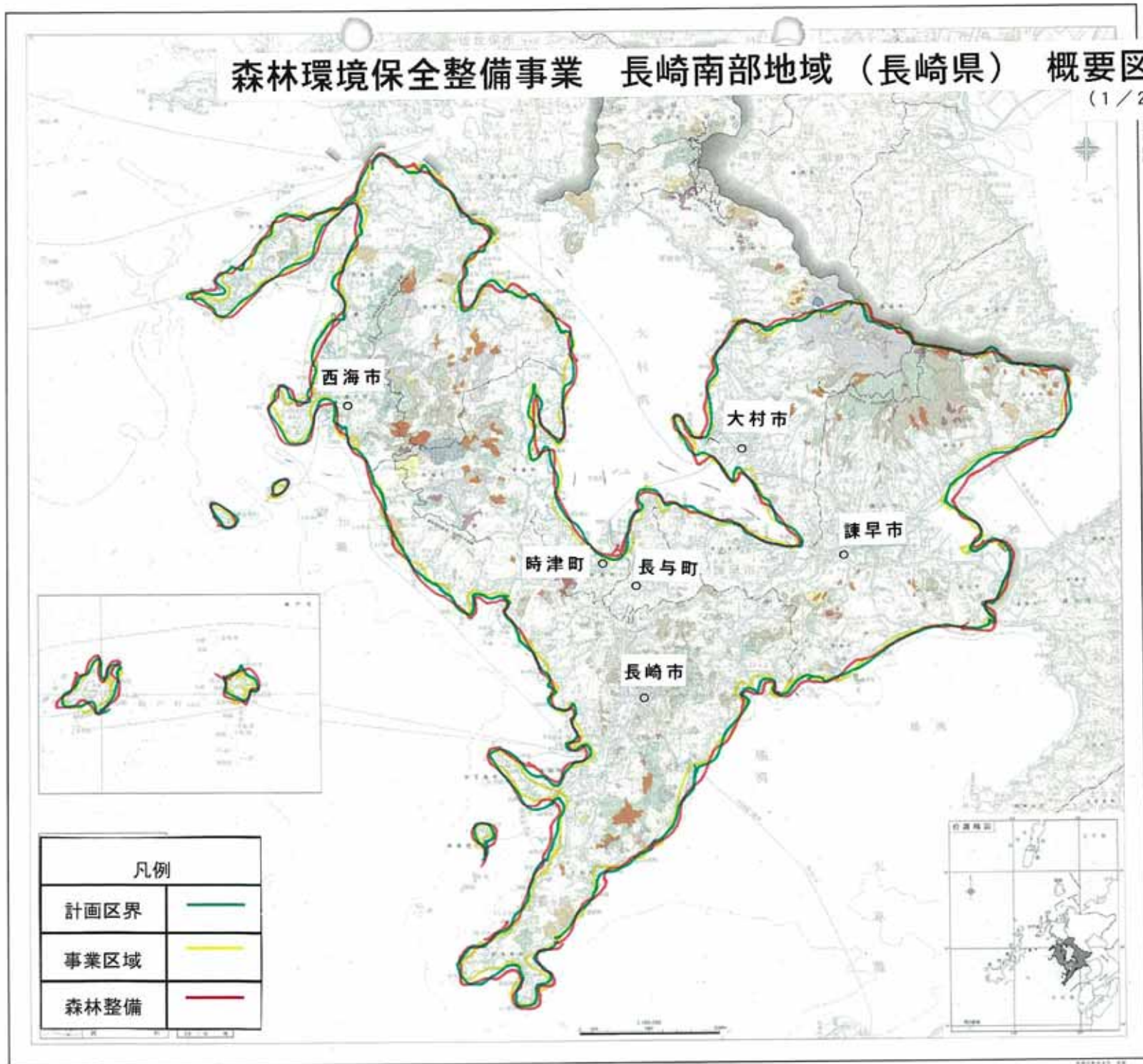
事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 長崎南部

長崎県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,387,097	
	流域貯水便益	2,676,068	
	水質浄化便益	4,568,570	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,151,252	
	土砂崩壊防止便益	16,342	
環境保全便益	炭素固定便益	946,280	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	118,893	
総 便 益 (B)		19,864,502	
総 費 用 (C)		2,510,566	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,864,502}{2,510,566} = 7.91$		

森林環境保全整備事業 長崎南部地域（長崎県） 概要図

(1/2)

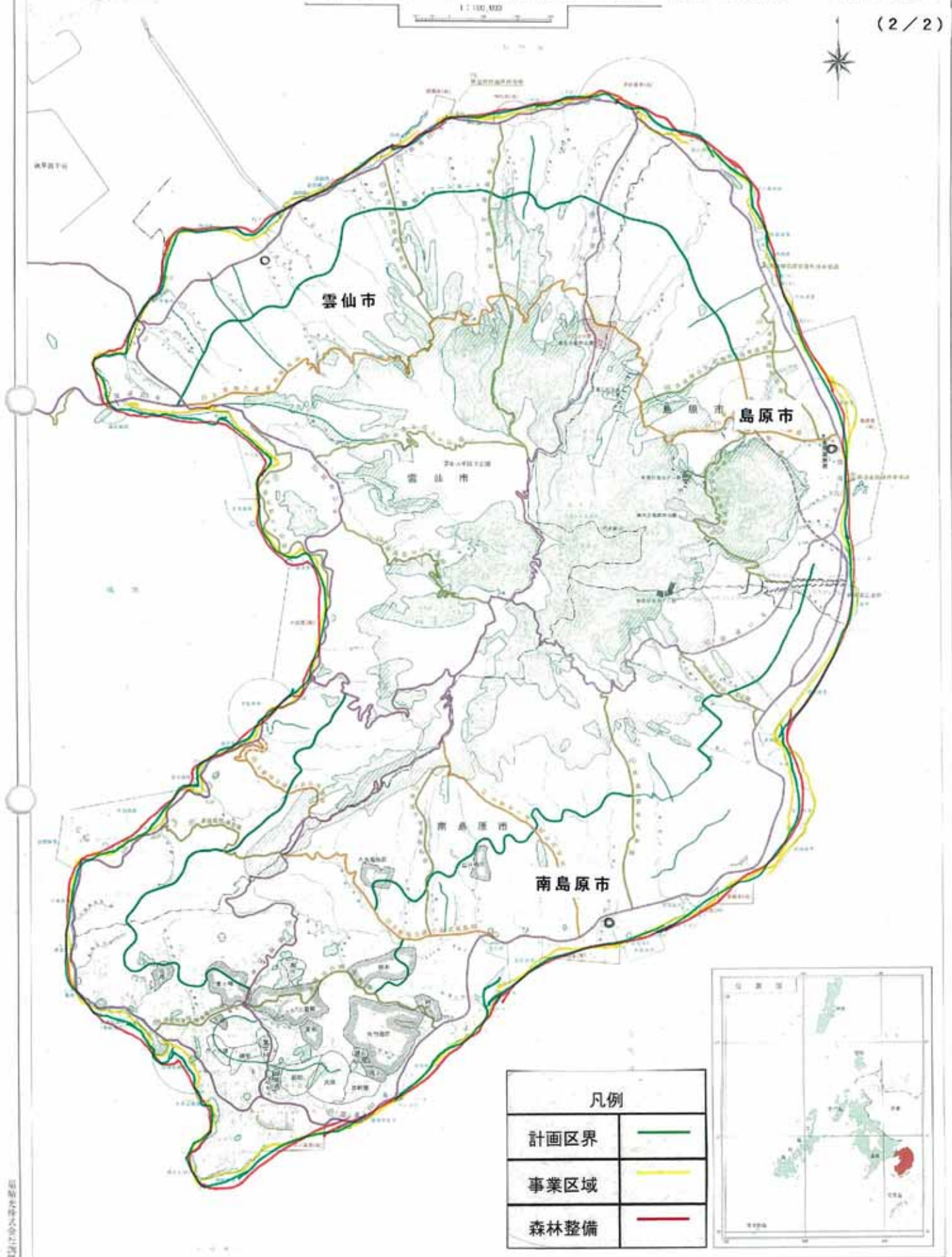


森林環境保全整備事業 長崎南部地域（長崎県） 概要図

(2/2)

平成十八年三月作成

1 : 100,000



凡例	
計画区界	— (Green line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)



長崎県庁外務課作成

長崎県島原振興局

7-2-100000-2 国土利用計画部作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成、総務課作成